

埼玉県越谷市との「認知症施策の推進等に関する連携協定」の締結について

朝日生命保険相互会社（代表取締役社長 木村 博紀、以下「当社」）と埼玉県越谷市（市長 福田 晃）は、認知症施策の推進等に関する連携協定を締結いたしました。

本協定の締結により、越谷市が進める認知症施策を通じてその予防を図るとともに、認知症になってからでも市民一人ひとりが尊重され、その本人の希望に合った形での社会参加が可能となる地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

■ 埼玉県越谷市との「連携協定」の締結について

1. 名称

「越谷市と朝日生命保険相互会社との認知症施策の推進等に関する連携協定」

2. 連携事項

- (1) 認知症施策の普及啓発に関すること
- (2) その他必要と認める事項



越谷市役所での連携協定締結式の模様
(左が福田越谷市長、右が朝日生命菅川越谷支社長)

認知症は、家族や友人などが認知症になることも含め、多くの人にとって身近なものとなっています。そうした社会環境を踏まえ、当社では、認知症になってからでも可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるように認知症バリアフリーを推進すべく、2022年3月に「認知症バリアフリー宣言」を策定・公表^(※)しています。

当社の強みである介護・医療分野の商品・サービスの提供に加え、全国に展開している各拠点を通じた地域に根差した企業活動、重症化予防をはじめとしたヘルスケア分野の価値提供等により、認知症バリアフリー社会の実現など健康長寿社会の実現に引き続き取り組んでまいります。

(※) 当社は、日本認知症官民協議会が推進する「認知症バリアフリー宣言の試行事業」に賛同し、同宣言を策定・公表。同宣言の詳細等については、当社ホームページ参照 ([リンク](#))